



2025年9月22日

各 位

会 社 名 持田製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 持田 直幸
(コード番号 4534 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部広報室 (TEL. 03-3225-6303)

アンドファーマ株式会社の第三者割当増資の引受けおよび 株式の取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ

当社は、アンドファーマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岩本 紳吾、以下「アンドファーマ」）が実施する第三者割当増資の引受け（以下「本第三者割当増資引受け」）、および、株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：江田裕一郎、以下「JWP」）が管理・運営する事業体である合同会社ジェイ・イー・エイチ（以下「JEH」）が保有するアンドファーマの株式の一部譲り受け（以下「本株式譲受」）により、アンドファーマの20%の株式を取得し、同社を持分法適用関連会社化すること（本第三者割当増資引受けおよび本株式譲受を総称して、以下「本株式取得」）を決定し、本株式取得に係る契約を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 本株式取得の理由

当社グループは、今後ますます厳しくなることが予想される事業環境を乗り越えて持続的に成長するため、2031年に目指す「ありたい姿」を策定し、医薬品関連事業、バイオマテリアル事業、ヘルスケア事業の3事業を柱として、グローバル展開も視野に各事業でニーズを捉えた特色ある製品をラインナップすることに取り組んでいます。2025年度は、ありたい姿の実現に向けた「成長戦略加速の3年間」と位置づける25-27中期経営計画を策定しました。同計画では、「コア事業の収益力強化」「成長事業の継続投資」「成長を支える経営基盤強化」を重点テーマとして取り組んでいます。

当社グループは、コア事業である医薬事業において、新薬を中心としながら、オーソライズドジェネリックを含む後発薬、バイオシミラーを手掛けてきました。後発薬は、政府が掲げた数量シェア80%を達成しましたが、品質および安定供給の確保や医療費抑制といった社会課題は依然として解決が待たれています。このような課題の解決は、品目統合や供給効率化に向けた業界横断的な取り組みも重要であり、政府が各企業間の連携を促し、業界再編を後押しする動きも見られます。また、バイオシミラーは医療の質を保ちつつ医療保険財政の改善に資することから、使用促進のための取り組みが進められています。

アンドファーマは、日医工株式会社（以下「日医工」）、共和薬品工業株式会社（以下「共和薬品」）およびT'sファーマ株式会社（以下「T'sファーマ」）を子会社に持つ純粋持株会社であり、国内大手後発薬企業と比肩する売上高規模を有する企業です。オーソライズドジェネリックを含む後発薬、バイオシミラー、長期収載品といった領域で幅広い品揃えを誇り、国内における医薬品の安定供給の一端を担っています。一部の子会社は過去に債務整理を行っていますが、足元では事業再生計画を達成する利益計上を実現しており、今後も収益性を重視した施策の実行により、更なる成長が見込まれています。

当社グループは、本株式取得を通じたアンドファーマの子会社各社との協業により、当社グループが有するバイオシミラーの開発・事業化ノウハウと、アンドファーマの子会社が有するバイオシミラーの製造能力とのシナジーを創出するとともに、既存品目の製造連携も見据え、コア事業である医薬事業の収益力強化を図ります。当社グループは 25-27 中期経営計画に掲げている通り、新薬メーカーとして社会に新しい価値を提供する新薬への継続的な取り組みおよびバイオマテリアル事業や核酸医薬、細胞医薬といった成長事業への継続的な投資を堅持する中で、本株式取得は、「コア事業の収益力強化」における後発薬・バイオシミラーによる医療経済的価値の提供を具体化した施策の一つと位置付けます。中長期的には、後発薬・バイオシミラー事業の安定収益基盤を活かして、当社の成長戦略を加速していく好循環を形成していきたいと考えております。

本株式取得と同時に、伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠商事」）もアンドファーマの株式を取得することを公表しています。同社は日本を代表する総合商社であり、医薬品分野においては、同社グループ会社との連携等を通じて、製薬会社向けに医薬品原料の供給や開発受託サービス等に取り組んできた実績があります。同社グループの有する原薬調達や流通機能に加え、同社グループが強みとする生活消費分野における消費者接点の活用等により、アンドファーマの子会社各社の事業基盤は今後一層強化されることが期待されます。アンドファーマが新たな成長フェーズへ入っていく過程において、当社グループは伊藤忠商事とともにアンドファーマの経営に参画することを通じて、更なる企業価値向上に努めていきます。

本株式取得を契機としたこれらの取り組みにより、先発薬企業と後発薬企業の連携による医薬品の安定供給体制を確立していくとともに、経済面および品質面の双方で優れた後発薬・バイオシミラーを広く社会に提供することを通じて、日本の医療経済に貢献することを目指します。

2. 想定される事業シナジーおよび協業効果

- (1) 当社の豊富なバイオシミラーの知見とアンドファーマの子会社各社の製造能力を活用した国産バイオシミラー供給体制の確立
- (2) 製造・品質管理体制の最適化を通じた効率的な製造・供給体制の確立
- (3) 先発薬企業と後発薬企業の連携による後発薬の供給不安解消に向けた協働体制の確立

3. 異動する関連会社（アンドファーマ株式会社）の概要（注1）

(1)	名 称	アンドファーマ株式会社	
(2)	所 在 地	東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号	
(3)	代表者の役職・氏名	岩本 紳吾	
(4)	事 業 内 容	グループ会社経営の管理・監督	
(5)	資 本 金	1億円	
(6)	設 立 年 月 日	2025年1月6日	
(7)	大株主および持株比率	合同会社ジェイ・イー・エイチ 100%	
(8)	当社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

(参考情報) 2025年3月期における子会社各社の主な経営成績

	日医工	共和薬品	T's ファーマ (注3)	T's 製薬 (注3)
売上高	1,249 億円	278 億円	369 億円	156 億円
営業利益	70 億円 (注2)	17 億円	23 億円	16 億円

注1：アンドファーマの経営成績および財政状態については、同社の意向および同社との守秘義務を踏まえて記載しておりません。

注2：コア営業利益。

注3：T's ファーマ（武田テバファーマ株式会社から2025年9月1日付で社名変更）、T's 製薬（武田テバ薬品株式会社から2025年9月1日付で社名変更、T's ファーマの100%子会社）の直近決算期は、2025年3月期決算期変更に伴う3か月の変則決算であるため、2024年12月期の数値を掲載。

4. 本株式譲受の相手先の概要

(1) 名 称	合同会社ジェイ・イー・エイチ		
(2) 所 在 地	東京都新宿区下宮比町1番4号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表社員 一般社団法人ジェイ・エイチ・エイチ 職務執行者 神永 信吾		
(4) 事 業 内 容	有価証券の保有、管理および売買		
(5) 資 本 金	30 万円		
(6) 設 立 年 月 日	2022年5月12日		
(7) 大株主および持株比率	一般社団法人ジェイ・エイチ・エイチ		
(8) 当社と当該会社の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

注1：純資産および総資産については、相手先の意向および相手先との守秘義務を踏まえて記載しておりません。

5. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株
(2) 取 得 株 式 数	197,818,534 株 (議決権の数：197,818,534 個)
(3) 取 得 価 額	アンドファーマ株式会社普通株式 16,199 百万円
(4) 異動後の所有株式数	197,818,534 株 (議決権の数：197,818,534 個) (議決権所有割合：20.0%)

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年9月19日
(2) 代表取締役決定日	2025年9月22日
(3) 契約締結日	2025年9月22日
(4) 第三者割当増資引受日	2025年10月1日(予定)
(5) 株式譲渡実行日	2025年10月1日(予定)

※(1)の取締役会においては、本株式取得の前提条件および本株式取得の決定について代表取締役に一任することを決議し、2025年9月22日に代表取締役により本株式取得を決定いたしました。

7. 今後の見通し

アンドファーマの持分法適用関連会社化により、持分法投資損益として当社業績への寄与が見込まれるほか、バイオシミラーを始めとした協業シナジーの発現により、当社連結ベースの業績拡大および企業価値の向上にも資するものと判断しておりますが、本株式取得に伴う当社の2026年3月期連結業績予想に与える影響は現在精査中です。今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

本株式取得後のアンドファーマおよび伊藤忠商事との協業について、当社社内に戦略提携統括室を設置し、各社との協議および協業内容の具体化を推進する予定です。

以上

(参考情報) 本株式取得後の資本関係図

